

イカナゴアミより得た貝類

安藤保二・鹿取秀雄

昭和30年頃、伊藤克己君および鹿取はイカナゴの水揚げ場付近に特異な貝類が捨てられている事を知り、その後安藤と共にその調査を継続して来た。その結果約120種の貝類について同定し、なを数種の未決定種を得た。中には分布上興味のあるものが若干あり、また従来本地方より報告されていないものも相当あるので、ここにその大要を報告し数種のものについて意見を述べたい。

材料の蒐集に関して協力された前記伊藤克己君、仮屋付近の材料の提供ならびにイカナゴの習性などの意見を戴いた神戸市立須磨水族館長井上喜平次氏、標本同定および文献閲覧に関して御便宜を与えられた京大黒田徳米博士、榎山次郎博士、大阪市岡高校金子寿衛男氏に深く感謝する。

イカナゴ漁場について

標本は主として神戸市須磨浦海岸より得たもので、鹿取は同市駒ヶ林より明石市にわたって採集し、前記井上氏より提供されたものは淡路島仮屋沖のものである。いずれの資料も海岸に近い約10~25mの水深の瀬より得られたもので、底質は粗い砂より小礫におよぶもので、殆どが貝殻の小破片からなっている。貝類は死殻も多いが、相当軟体部を残す生貝も含んでいる。その他ハゼ類の小魚、シヤコ、エビ類の甲殻類も共に得られた。

この地域の海水は神戸海洋気象台編「瀬戸内海の気象と海象」(1952)によれば、瀬戸内海でも海底温度が最も低く(年平均15.5°C)、年間を通じて水温の上昇少く、その期間の短い区域で、しかも海水比重は最低である。またイカナゴは北方系の魚で、砂中に潜伏して棲息するものであると言う。以上の事から見て本地域に後述するような特異なフオーナが存在することは何らかの海底の特殊環境と関連性があることが想像出来る。

多産する貝類

特に多く産するものはヒナノヒアウギで、死殻が多いが鮮麗な彩色のものも相当あり、稀には生貝もある。比較的多いものはクチベニデ、ベニワスレ、コバトガイ、ウスモシオ変種、やや多いものはミツマベニガイ、ヒナフミガイ、ミミエガイ、マルミミエガイ、ニクイロザクラ変種、クサビザラ、マルクサビザラ、チヂミマメハマグリ、ヌマコダキガイ変種等で、コバトガイ、クチベニデ、ミミエガイ、ニクイロザクラ変種、マルクサビザラ等は特に生貝が多い。その他のもの

のも稀に生貝があり生存種であることは疑いが無い。興味のある数種の貝について

1. ヌマコダキガイ変種 *Potamocorbula amurensis* (Schrenck) var.

本地域からヌマコダキガイを産することは先に筆者等(1958, *Venus* 20巻1号 P160)の報告した所であるが、その後 Schrenck (1867)の原記載を見て次の相違を知った。

I) 殻は小型で薄質である。II) 殻形は前後に長く腹縁は丸みが少く、前後縁共に鈍く尖る。III) 殻皮の色が淡い。IV) 原種が汽水性であるのにくらべて、本亜種は海産である。

Schrenck は北日本から海産のものがあると述べているがその図は示していない。また北海道貝類目録(1935)の図版にある根室産のものは、Schrenck の図のものに近い。

本亜種と全く同じものを筆者は高塚山貝層(1953, *兵庫生物*, 2巻3号 P.143)から報告した。要するに本亜種は瀬戸内海に現生し、化石種として第3紀末から第4紀始めにかけて神戸周辺に棲息したもので、ヌマコダキガイ原種に類似するが形、大きさ、生活環境のやや、変つたものであろう。原種はアムール付近、朝鮮、北部北海道に産する寒流系のものであるが、瀬戸内海ではやや低温、低塩分の本海域に残留して変化したものではなかろうか。また北方系のイカナゴと共産するのはその生活に適した環境に類似性があるのではなかろうかと考える。瀬戸内海東部の生物相の特異性として興味のある事実である。

2. ホソスジイシカゲガイ *Clinocardium uchidai* Habe?

本種は従来エゾイシカゲ *Clinocardium californiense* (Deshayes) として同定され、関東地方洪積世から多産したもので、東京湾から現生種が得られたが、近時前記の名で別に扱われて居り、殻は前後に長く、放射肋数多く、肋の高まり少く、肋間の溝の浅いものである。本地域産のものは幼貝で関東地方の化石より著しく小型であるが、殻形、肋の様子から見てホソスジイシカゲと考えられる。もしそうであるとすれば、かなり寒流系のものかと考えられる。

3. クサビザラ *Cadella delta* (yakoyama)

本種は波部博士(日本産貝類概説 P.212)によると、産地は本州出雲、駿河以北一根本とされたが、その後瀬戸内海(1952, 山口県貝類目録) (第七突堤

の貝、古川博二、兵庫生物)からも報告されたものである。やや寒流系の感じのする貝である。

4. マルクサビザラ *Cadella narutoensis* Habe

本種は洪積世化石として千葉県、東京都から相当産出するものに近く、従来疑問種として明らかに種名を与えられなかつた(1926, 矢部、野村、木下付近化石貝)ものであるが、近年波部博士によつて鳴戸海峡学術調査の際本種名を与えられた。化石種は現生種に比して同心円肋がやや粗いが殆ど同一種であろう。化石種は北方種サラガイと共産している故何らか寒流と縁のあるものではないかと考えられる。

5. ニクイロザクラ変種 *Semelangulus miyatensis* (Yokoyama) var. 原種に比較して次の点がある。

I) 前端は丸く、原種のように尖らない。II) 後端の切れ方は更に斜めである。III) 殻頂は中央に近い。IV) 成長脈は細く、原種程顕著でない。

原種は三浦宮田層から報告されたもので、ウソシジミ、ツキガイモドキ、ホソスジイシカゲ、エゾタマキ等の寒流系貝と共に産する。また黒田博士(1955, ゆめはまぐり、82号、p.8)によると滝沢博士が広島県から報告されたそうあるが、本亜種と同じものかどうかは判らない。

6. ウスモシオ変種 *Crassatellites adamsi* (Kobelt) var.

矢倉和二郎氏がスダレモシオ(1932, 兵庫県貝類目録 p.8)とされたものは、おそらく本種であろう。そ

の後本種がスダレモシオか、モシオガイについて議論があつた。(吉良氏、波部氏)しかしスダレモシオのように腹縁の入込みがなく、モシオガイにはすだれ彫刻がなく、あつても殻頂部だけであり、殻頂角は兩者より大きく、また殻巾せまく扁平である。以上の事より、むしろウスモシオに近いものかと考えるがウスモシオに比して次の諸点異なる。I) すだれ彫刻は細く、著しい。II) 色彩は淡色で褐赤色の雲彩があるものが多い。

本亜種に近似するものは横山博士の品川貝層からの *C. nana* Adams et Reeve (1927, Yokoyama, *Moll. Up. Musashino of Tokyo*, p. 434, pl. 49 fig. 11)である。本種は日本産産のものであるので地域の違いから来る変種ではなからうか。

結語にかえて

以上述べた通りイカナゴ漁場には寒流系ではないかと考えられる貝が若干産することは事実で、その中には生貝もあること故、化石貝とばかりは言えない。この事と水温の低いこと、イカナゴが北方の魚と言われとはどれ位関係があるかについては、この程度では想像の域を脱しないが、更に調査をすれば面白い事が判るのではないかと思う。急いだため種名未決定のもの十数以上もあり、殆ど図解もしなかつたが後機会を見て追加、訂正、図示および記載をしたいと考えている。

採集品目録

(興味深く感じたものに下線を施した。)

腹 足 綱

1. クリンイトカケ	<i>Amaea thielei</i> de, Boury	r
2. クリンイトカケの類	<i>Amaea</i> sp.	r
3. キクスズメ	<i>Amalthea conica</i> Schmacher	c
4. イソチドリ	<i>Amatina tricarinata</i> (Linne)	c
5. カゴメガイ	<i>Bedequina bilileffi</i> (Lischke)	r
6. イボウミニナ	<i>Batillaria zonalis</i> (Bruguere)	r
7. コシダカエビス	<i>Calliostoma</i> (<i>Tristichotrochus</i>) <i>consor</i> (Lischke)	(c)
8. コンゴウボラ	<i>Cancellaria</i> (<i>Merica</i>) <i>laticosta</i> Lobbecke	r
9. ササノツユ	<i>Cavolina longirostris</i> (Blainville)	f
10. カゴメヌカボラ	<i>Clathranachis japonica</i> (A. Adams)	r
11. コガモガイ	<i>Collisella heroldi</i> (Dunker)	f
12. アワブネ	<i>Crepidula gravispinosa</i> Kuroda et Habe	c
13. ヒラフネガイ	<i>Crepidula</i> (<i>Siphopateila</i>) <i>walshi</i> (Reeve)	c
14. ウスオビフタナシヤシク	<i>Daphnella</i> (<i>Asperdaphne</i>) <i>subzonata</i> (Smith)	r
15. クズヤガイ	<i>Diodora sieboldii</i> (Reeve)	r
16. ハリハマツボ	<i>Diala vitrea</i> Sowerby	(c)
17. スソカケの類	<i>Emarginula</i> sp.	f
18. チャマダライトカケ	<i>Epitonium</i> (<i>Glabriscala</i>) <i>stigmaticum</i> (Pilsbry)	(f)

19.	タテヨコイトカケ	<i>Epitonium (Cinctiscala) eusculptum</i> (Sowerby)	r
20.	カマクライトカケ	<i>Epitonium (Cinctiscala) kamakuranum</i> (Pilsbry)	r
21.	シノブガイ	<i>Epitonium (Nitidiscala) angustum</i> (Dunker)	r
22.	ナガヒメネジ	<i>Epitonium (Mozescala) castum</i> (Sowerby)	r
23.	ビワガイ	<i>Ficus subintermedium</i> (d, Orbigny)	r
24.	ハツカネズミ	<i>Fossarus japonicus</i> (Pilsbry)	r
25.	ナワメグルマ	<i>Heliacus (Torinista) enoshimensis</i> (Melvill)	f
26.	マキギヌ	<i>Leucotina gigantea</i> (Dunker)	r
27.	ホソシヤジク	<i>Lienardia (Pseudostrema) fortilirata</i> (Smith)	r
28.	ヌノメシヤジク	<i>Lienardia (Etrempoa) subauriformis</i> (Smith)	r
29.	カイコガイダマシ	<i>Liloa porcellana</i> (Gould)	f
30.	ヒナシタダミ	<i>Lirularia (Conotalopia) ornata</i> (Sowerby)	(c)
31.	ヒメカタベ	<i>Liotina semiclathatula</i> (Schrenck)	f
32.	スカシガイ	<i>Macronschisma sinensis</i> A. Adams	r
33.	ハナムシロ	<i>Nassarius (Zeuxis) caelatus</i> (A. Adams)	c
34.	ムシロガイ	<i>Nassarius (Niota) livescens</i> (Philippi)	f
35.	エゾタマガイ	<i>Natica (Tectonatica) severa</i> Gould	(c)
36.	アダムスタマガイ	<i>Natica (Tanea) adamsiana</i> Dunker	(f)
37.	マクラガイ	<i>Oliva mustelina</i> Lamarck	r
38.	ミヤコドリ	<i>Phenacolepas (Cinnalepeta) pulcellus</i> (Lischke)	r
39.	キセワタ	<i>Philine japonica</i> Lischke	f
40.	ザクロガイ	<i>Proterato (Sulcerato) collosa</i> (Adams et Reeve)	r
41.	ウズマキガイ	<i>Pygmaeorota duplicata</i> (Lischke)	r
42.	ムギガイ	<i>Pyrene (Mitrella) bicincta</i> (Gould)	(c)
43.	ノミニナ	<i>Pyrene (Zafra) pumila</i> (Dunker)	r
44.	キヌシタダミ	<i>Sericominolia stearnsii</i> (Pilsbry)	(r)
45.	ミミズガイ	<i>Siliquaria cumingi</i> Mörch	r
46.	トウイト	<i>Siphonalia fusoides</i> (Reeve)	c
47.	ミズゴマツボ	<i>Stenothyra japonica</i> Kuroda	f
48.	クチキレの類	<i>Syrnola</i> sp.	r
49.	アワシタケ	<i>Terebra (Punctoterebra) awajiensis</i> Pilsbry	(r)
50.	ヒメトクサ	<i>Terebra (Punctoterebra) lischkeana</i> Dunker	(r)
51.	マキノノシヤジクの類	<i>Tomopleura</i> cff. <i>nivea</i> (Philippi)	f
52.	ネジヌキ	<i>Trichotropis (Iphinoe) unicarinata</i> (Broderrip et Sowerby)	c
53.	ミツクチキリオレの類	<i>Triphora</i> sp. 1	f
54.	ミツクチキリオレの類	<i>Triphora</i> sp. 2	f
55.	ヒメキリガイダマシ	<i>Turritella (Kurosioia) fascialis</i> Menke	f
56.	キサゴ	<i>Umbonium (Suchium) costatum</i> (Kiener)	(c)
57.	ハナズトガイ	<i>Veltina takatensis</i> (Yokoyama) var.	r

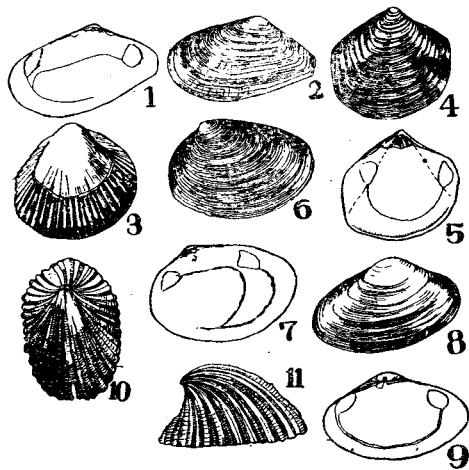
斧 足 綱

1.	コバトガイ	<i>Abra</i> (s. s.) <i>hakushnatoensis</i> (Nomura)	(m)
2.	クチベニデ	<i>Anisocorbula venusta</i> (Gould)	(m)
3.	ツマベニ	<i>Anisocorbula scaphoides</i> (Hinds)	(c)
4.	イソカゼ	<i>Anisodonta gouldi</i> (A. Adams)	m
5.	ハマカゼ	<i>Anisodonta recluzi</i> (A. Adams)	c
6.	サルボウ	<i>Anadara (Scapharca) subcrenata</i> (Lischke)	(f)

7.	コベルトフネガイ	<i>Arca boucardi</i> Jousseau(r)
8.	フネガイ	<i>Arca ocellata</i> Reeve f
9.	イチヨウシラトリ	<i>Arcopagia (Merisca) diaphana</i> (Deshayes) f
10.	トゲウネガイ	<i>Arcopagia (Quadrans) spinosa</i> (Hanley) f
11.	クサビザラ	<i>Cadella delta</i> (Yokoyama) c
12.	マルクサビザラ	<i>Cadella narutoensis</i> Habe M. S.(m)
13.	マツヤマワスレ	<i>Callista chinensis</i> (Holten) r
14.	モモイロトマヤガイ	<i>Cardita nodulosa</i> Lamarck f
15.	キクザル	<i>Chama reffa</i> Reeve r
16.	アズマニシキ	<i>Chlamys (s. s.) nipponensis</i> Kuroda r
17.	ヒナノヒアウギ	<i>Chlamys (Mimachlamys) pelseneri</i> Dautzenberg et Bavay(a)
18.	ヒメツキガイ	<i>Ctena divergens</i> (Philippi) c
19.	ウスモンオ変種	<i>Crassatellites adamsi</i> (Kobelt) var.(m)
20.	ホソスジイシカゲ	<i>Clinocardium uchidai</i> Habe f
21.	ヒメマスオ	<i>Cryptomya busoensis</i> Yokoyama r
22.	カガミガイ	<i>Dosinia (Phacosoma) japonica</i> (Reeve) c
23.	サクラガイ	<i>Fabulina nitidula</i> (Dunker) f
24.	アシガイ	<i>Gari maculosa</i> (Lamarck) r
25.	タマキガイ	<i>Glycymeris (s. s.) vestita</i> (Dunker) c
26.	キヌマトイガイ	<i>Hiatella orientalis</i> (Yokoyama) f
27.	ハネマツカゼ	<i>Irus macrophollus</i> (Deshayes) f
28.	マンゲツシオガマ	<i>Joannisiella lunaris</i> (Yokoyama) f
29.	コハクノツユ	<i>Kellia porculus</i> Pilsbry r
30.	マルハナシガイ	<i>Leptaxis rotundata</i> (Yokoyama) f
31.	チヂミカノコアサリ	<i>Leucoma japonica</i> Kira f
32.	バカガイ	<i>Mactra sulcataria</i> Reeve(m)
33.	シマナミマガシワモドキ	<i>Monia radiata</i> (Sowerby)(m)
34.	カモメガイモドキ	<i>Martesia cupula</i> (Yokoyama) r
35.	ハチミツガイ	<i>Melliteryx puncticulata</i> (Yokoyama) r
36.	ホクロガイ	<i>Oxyperas bernardi</i> (Pilsbry)(f)
37.	アケガイ	<i>Paphia (s. s.) vernicosa</i> (Gould)(f)
38.	イタヤガイ	<i>Pecten (Notovola) albicans</i> (Schröter) r
39.	ハボウキガイ	<i>Pinna (Cyrtopinna) attenuata</i> Reeve r
40.	ヤエウメ	<i>Phlyctiderma japonica</i> (Pilsbry) f
41.	イオウハマグリ	<i>Pitar sulfurea</i> Pilsbry r
42.	チヂミマメハマグリ	<i>Pitar (Costellipitar) chordata</i> (Römer) c
43.	ウスハマグリ	<i>Pitar (Agriopoma) japonica</i> Kuroda r
44.	ハナガイ	<i>Placamen tiara</i> (Dillwyn) c
45.	ヌマコダキガイ変種	<i>Potamocorbula amurensis</i> (Schrenck) var.(m)?
46.	ユキミノ	<i>Promantellum orientale</i> (Adams et Reeve) c
47.	オニアサリ	<i>Protothaca (s. s.) jedoensis</i> (Lischke) m
48.	シコロエガイ	<i>Pseudogrammatodon dalli</i> (Smith) r
49.	コフシガイ	<i>Pseudopythina subsinuata</i> (Lischke)(f)
50.	マメアゲマキ	<i>Scintilla vitrea</i> (Quoy et Gaimard) r
51.	アサシガイ	<i>Semele zebuensis</i> (Hanley) f
52.	ニクイロザクラ変種	<i>Semelangulus miyatensis</i> (Yokoyama) var.(m)

53. バラフマテ *Solen roseomaculatus* Pilsbry r
 54. ベニワスレ *Sunetta* (s. s.) *solanderii* (Gray) m
 55. ミミエガイ *Striarca* (*Galactella*) *symmetrica* (Reeve) (m)
 56. マルミミエガイ *Striarca* (*Didimarca*) *tenebrica* (Reeve) (m)
 57. シボリザクラ *Tactellina* (*Loxoglypta*) *lauta* (Gould) r
 58. マメクチベニ *Varicorbula yokoyamai* Habe r
 59. クシケマスオ *Venatomya truncata* (Gould) f
 60. ヒナフミガイ *Venericardia* (*Pleuromeria*) *pygmaea* Kuroda et Habe (a)
 61. ヒメカノコアサリ *Veremolpa micra* (Pilsbry) (c)
 62. アサリ *Venerupis* (*Amygdala*) *japonicus* (Deshayes) (c)
 63. ヤミノニシキ *Volachlamys hirasei* (Bavay) (f)
 64. アワジチヒロ *Volachlamys hirasei awajiensis* (Pilsbry) f
 65. ヒバリガイ *VolSELLA* (s. s.) *nipponica* Oyama (m)
 66. チチミウメノハナ *Wallucina lamyi* Chavan c
 追加
 67. イシマテ *Lithophaga* (*Leiosolenus*) *curta* (Lischke) (f)
 68. タマエガイ *Musculus* (s. s.) *neglectus* Kuroda c
 a (極めて多産)、 m (多産)、 c (普通)、 f (少数産出)、 r (稀産)。 () は生貝を含むことを示す。

圖版説明



Semelangulus miyatensis (Yokoyama) var

1. Right valve l.12.0 h.6.8 b.2.0mm
2. Left valve l.11.7 h.6.4 b.1.8mm

Clinocardium uchidai Habe?

3. l. 6.3 h.5.8 b.1.5mm

Crassatellites adamsi (Kobelt) var.

4. Right valve l. 9.6 h.8.1 b.1.4mm
5. Left valve l.11.1 h.9.6 b.2.0mm

Cadella narutoensis Habe M. S.

6. Right valve l.14.0 h.9.4 b.3.0mm
7. Left valve l.13.9 h.9.5 b.2.8mm

Potamocorbula amurensis (Schrenck) var.

8. Left valve l.14.2 h.8.5 b.3.0mm
9. Left valve l.11.6 h.6.3 b.2.3mm

Emarginula sp.

10. 11. l. 1.9.6 w.6.8 h.5.0mm